

◆先輩からのアドバイス◆

コロナ禍での学修の進め方 —フィールドワークでの聞き取り調査編—

新型コロナウイルスが蔓延し新しい生活様式が求められる中、フィールドワークでの聞き取り調査もその影響を受けています。琉大でも「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動制限下における研究の実施に関するガイドライン」が制定されました。そこで、上記の指針や指導教員の助言をもとに私が行っているフィールドワークでの聞き取り調査の感染防止策をご紹介します。

①話者の要望に合わせた調査方法を取る。

…電話インタビュー、オープンスペースでの対面インタビュー、ビデオ機能を持つソフトやツールでのインタビューなど

②対面となった場合、マスク着用、換気、2mの距離を確保し、正面には座らない。

③話者と会食は行わない。

④調査の時間は最長1時間にし、回数を重ねることで質と量を確保する。

⑤調査1週間前から、人と接触する機会を極力減らす。

⑥手帳などを用いて行動記録と健康観察、会った人などを記録する。

⑦調査地での接触や移動場所の記録を作成する。

以上のことを踏まえてフィールドワークでの聞き取り調査を行っています。皆さんも感染拡大防止に気を付けながら、地域に飛び出して色々な発見をしてみましょう。

(人文社会科学部 研究科 M1)